

社会医療法人愛生会

---

# 上飯田リハビリテーション病院

---



# 各科データ

## 各科診療実績 2021年1月～2021年12月データ

### ▶ 入院実績

項目	件数
新規入院患者数	435名
1日平均患者数	91.2名
平均在院日数	76.8日
在宅復帰率（70%以上）	92.8%
入院時重症度（30%以上）	39.8%
退院時回復割合（30%以上）	80.6%
1日あたり平均リハビリ実施単位	7.2単位
実績指数（アウトカム指数）	45.0

### ▶ 通所リハビリテーション

利用実績	件数
利用件数（1ヶ月平均）	
クイック（1時間～2時間利用）	31
オーダー（3時間～4時間利用）	50
ベーシック（6時間～7時間利用）	68
利用延件数（1ヶ月平均）	
クイック	170
オーダー	319
ベーシック	463
介護度割合（%）	
要介護1	12
要介護2	36
要介護3	15
要介護4	16
要介護5	2
要支援1	5
要支援2	13
目標達成による卒業者（年間）	
クイック	5
オーダー	3
ベーシック	2

### ▶ 栄養科

項目	件数
患者食数 一般食	45,492
患者食数 特別食（加算）	28,867
患者食数 特別食（非加算）	19,487
患者食数 濃厚流動食	4,232
通所リハビリテーション食数	5,428
入院栄養食事指導	393
NST 回診延べ患者数	99
栄養アセスメント件数	876

### ▶ 地域医療連携室

項目	件数
介護連携指導料	82
退院時共同指導料	4
退院支援加算件数	379
相談延件数（相談領域）	4,435
入院相談	10
背景要因	4
カンファレンス	1,751
家族	2
職業・住居	13
経済	55
退院支援（転院・入所）	626
在宅支援・維持	7
その他	29
退院支援（在宅）	1,936

### ▶ 紹介入院患者数

紹介元医療機関名	件数
総合上飯田第一病院	157
名古屋医療センター	63
東部医療センター	44
大隈病院	29
西部医療センター	25
春日井市民病院	14
名古屋大学医学部附属病院	14
旭労災病院	8
愛知医科大学病院	8
小牧市民病院	7
名鉄病院	4
名古屋市立大学病院	4
公立陶生病院	4
名古屋第二赤十字病院	2
その他、市内の医療機関	12
その他、市外の医療機関	7
その他、県外の医療機関	6

## 上飯田リハビリテーション病院

院長 水野 正昇

### ▶ 特徴

当院は回復期リハビリテーションの病院です。医師、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士による個別リハビリテーションと看護師、介護士のケアプランによるリハビリテーションを実施し、管理栄養士による栄養指導を行っています。

毎日の生活が障害を取り除くリハビリテーションになるように、患者さま、利用者さまを主体として様々な職種がチームとなり自宅復帰、社会復帰、生活支援に取り組んでいます。

また通所リハビリテーションにも力を入れ入院中のリハビリテーションから退院後の通院リハビリに円滑に移行できるように努めています。

### ▶ 今後の目標

- 安全で安心な療養環境の提供  
患者さま、利用者さまが安心してリハビリテーション医療を受けられるよう今まで以上に安全な医療の提供に努めます。
- 地域医療連携の推進  
地域の救急医療が円滑に機能するよう受け入れを速やかにし、効果的なリハビリテーションにより早期の社会や家庭への復帰に努めます。
- 法人内連携の強化  
地域のみなさまが安心して生活できるよう法人内連携の充実を進めます。

## 看護部

看護部長 森川 和美

### ▶ 特徴

身体の状態だけでなく、障害を負うことで変わっていく今後の人生に、全職員一丸となって総合的にサポートしていく事ができるよう、チームアプローチを実践しています。

そして、よりよい状態で、地域、社会、家庭に復帰していただけるよう、最善の看護・介護の提供に努めております。

施設基準：回復期リハビリテーション入院料1

看護：回復期リハビリテーション看護師3名  
NST 専門療法士3名

介護：アセッサー 3名

### ▶ 今後の目標

基本方針

- 患者のニーズに応じた、安全で安心な療養環境を提供する
- 看護・介護水準向上のため、自己啓発・相互啓発に努める
- 看護・介護職の専門性を自覚し、他職種との連携・チーム医療を推進する

目標

患者のその人らしく生きる生活を大切にし、信頼され愛される看護・介護の提供に努めます

## 通所リハビリテーション

主任 中野 和人

### ▶ 特徴

利用者さまの生活スタイルやご希望に応じたコースを選択していただくことができます。理学療法士・作業療法士・言語聴覚士による個別のリハビリを中心に看護師や介護士等と連携しながら利用者さまと目標を確認してリハビリを提供しています。また、在宅生活をより安心して生活を送るために利用者さまやご家族さま、ケアマネジャー、他のサービス事業者を含めたりハビリ会議を開催し、自立支援に向けたサービスの提供に努めております。

### ▶ 今後の目標

- ・利用者さまを積極的に受入れ、充実したサービスの提供や質の向上に努めます。
- ・生活機能の改善に努め、リハビリからの卒業や他のサービスへの移行に取り組みます。

## 地域医療連携室

医療ソーシャルワーカー主任補 高島 ゆかり

### ▶ 特徴

地域医療連携室は社会福祉士3人体制で、各病棟に専従1名ずつを配置しています。入院時にすべての患者さま・ご家族と面談し、入院中の生活問題の相談や退院支援を行っています。院内では他職種とカンファレンスを重ねてチームアプローチを行い、院外の各担当者とも連携をはかりながら、患者さま・ご家族が安心して入院生活を送り、退院を迎えられるよう支援しています。

### ▶ 今後の目標

- ・患者さまやご家族に安心していただけるよう、専門性の更なる向上を目指して学習を進めます。情報や知識を部署内で共有し、部署として力量を上げていきます。
- ・院内の他職種、院外の各担当者からも相談しやすい部署であるよう努めてまいります。

## リハビリテーション科

リハビリテーション科係長 成瀬 早苗

### ➤ 特徴

施設基準：脳血管等リハビリテーション（Ⅰ）、運動器リハビリテーション（Ⅰ）

人 員：理学療法士33名、作業療法士24名、言語聴覚士12名

当科は主に回復期病棟入院中の患者さまに対し、最大限の回復を目指しリハビリテーションを行っています。職員には様々な経験を積ませ、広い視野で最適なりハビリテーションを選択し、患者さまへ提供できるよう育成しています。

地域医療に貢献するため、市民向けにリハビリ講座の開催を予定していましたが、新型コロナウイルス感染の影響で開催できませんでした。

### ➤ 今後の目標

- ・さらなる治療効果（退院時 ADL、実績指数）向上のため、人材育成・業務改善に努めます。
- ・患者さまやご家族に安心していただけるよう、引き続き入退院支援の強化に努めます。
- ・地域医療に貢献するため、リハビリ講座の再開や法人内外の連携強化を推進します。

## 栄養科

栄養科係長 藤田 寛子

### ➤ 特徴

各病棟に専任の管理栄養士が在籍し、栄養管理を行っています。入院時に栄養に関する聞き取りをもとに栄養評価を行い、低栄養およびリスクのある患者さまを早期に発見し計画を立案します。その後も全患者さまの摂取状況・体重変化等を確認し、必要な患者さまにはBCAA飲料を負荷する等リハビリ効果を高める栄養管理を目指しています。

給食部門は全面委託しています。定期的に行事食を提供するなど、患者さまに喜んでいただけるよう努めております。

### ➤ 今後の目標

- ・患者さま個々に合わせた栄養管理を提供します。
- ・再発を防ぐために定期的に栄養指導を実施します。
- ・給食満足度の向上に努めます。

## 薬剤部

薬剤部 竹川 真由美

### ▶ 特徴

適正な薬物療法を支援する為、医薬品の管理・供給、情報の収集・提供を行っています。(DI ニュースの発行等)

患者さまに安全で安心してお薬を服用していただくために、お薬を一包化し、わかりやすく服用しやすい状態にすることによって、患者さまのコンプライアンス向上に寄与しています。

### ▶ 今後の目標

- ・ 医薬品が有効に使用されるよう適正使用に努めます。
- ・ 薬剤の多剤投与「ポリファーマシー」の軽減に努めます。
- ・ チーム医療の推進に努めます。
- ・ 持参薬の内服漏れがないように努めます。
- ・ 医薬品の供給・薬物療法の情報提供に努めます。

## 専門医資格一覧

水野 正昇 院長

【専門医】日本整形外科学会 整形外科専門医

伊東 慶一 副院長

【指導医】日本リハビリテーション医学会 リハビリテーション科指導医

【専門医】日本認知症予防学会 認知症予防専門医

成瀬 隆裕 整形外科部長

【専門医】日本整形外科学会 整形外科専門医

大島 祐之 整形外科部長

【専門医】日本整形外科学会 整形外科専門医

【認定医】日本整形外科学会 認定運動器リハビリテーション医

日本スポーツ協会 公認スポーツドクター

日本整形外科学会 認定スポーツ医

日本医師会 認定産業医